

7月の農薬

No. 4 - 1
令和4年7月1日

安全安心な農作物を生産していくために、農薬の使用法を守るとともにこれまで以上に飛散防止に努めましょう。

水 稲

葉いもち：夜温が高く曇天・降雨が続く場合は注意が必要です。

早期発見に努め、発生の初期に防除しましょう。

穂いもち：出穂前後の防除が重要です。

斑点米カメムシ類：県の予察情報を参考に防除してください。

(倒伏軽減剤)

時期	農薬名	規格	譲渡書	主な使用目的	使用方法、使用量
7月上旬 下旬	スマレクト粒剤	3kg	-	倒伏軽減	10a当り2~3kg。 出穂7~20日前に湛水して均一に散布する。 重複散布や多量散布は絶対にしない。
	ロミカ粒剤	3kg	-	倒伏軽減	10a当り2~3kg。 出穂25~10日前に湛水して均一に散布する。 重複散布や多量散布は絶対にしない。
	ビビフルフロアブル	100ml	-	倒伏軽減	10a当り薬量100ml・水量150ℓ、出穂10~2日前均一に茎葉散布する。
	ビビフル粉剤DL	3kg	-	倒伏軽減	10a当り3~4kg。 出穂10~5日前に茎葉部均一にかかるように散布する。 降雨直後・降雨が予想される場合は散布を控える。

時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	使用方法、使用量
7月上旬	トレボン乳剤	500ml	-	(イナゴ類)	2,000倍を散布する。なお、薬剤は畦畔等も含めて散布する。また、散布前に畦畔の草刈りを実施すると効果が高まる。
7月上旬 下旬	ダブルカット粉剤3DL	3kg	-	葉いもち 6月中旬 下旬 穂いもち (第1回) 7月下旬 8月上旬	10a当り 粉剤3kg 液剤 乳剤 ゾル (フロアブル) 1,000倍(100ml/100ℓ) 120ℓ/10aを散布する。 ノンプラスおよびブラシンは発病後も効果が大きく8月上旬頃まで使用できる。
	ビーム粉剤DL		-		
	ラブサイド粉剤DL		-		
	ノンプラス粉剤DL	-			
	ブラシン粉剤DL	-			
	ブラシンフロアブル	500ml	-		
	ノンプラスフロアブル		-		
	ラブサイドフロアブル		-		
	ダブルカットフロアブル		-		
	7月下旬	トライフロアブル	-		
ビームゾル	○	-	-	-	
7月中旬	ゴウケツ粒剤	3kg	-	穂いもち	出穂10~14日前。10a当り3~4kg。
コラトップ粒剤5	-		出穂5~30日前。10a当り3~4kg。		
コラトップ豆つぶ	250g		-		出穂5~30日前。10a当り250g。
コラトップジャンボ	500g		-		出穂5~30日前。10a当り10~13パック。
7月中	モンカット粒剤 リンパー粒剤 モンガリット粒剤	3kg	-	-	出穂20日前に10a当り4kg湛水して散布する。使用時期を遅れないようにする。
7月 下旬	モンカットファイン粉剤20DL	3kg	-	紋枯病	10a当り4kg散布する。
	モンセレン粉剤DL		-		
	バリダシン粉剤DL		-		
	モンカットフロアブル	500ml	-		1,000倍(100ml/100ℓ)を10a当り120ℓ散布する。
	バリダシン液剤5		-		1,500倍(67ml/100ℓ)を10a当り120ℓ散布する。
	モンセレンフロアブル		-		

※稲こうじ病は、出穂の10~14日前を目安にモンガリット、ブラシン等を散布する。

※カスミンおよびダブルカット単剤、混合剤については、使用時期が「穂揃期まで」となっておりますので、穂揃期以降に使用させないよう、注意して使用をお願いいたします。

時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	使用方法、使用量
7月 下旬	ゴウケツモンスター粒剤	3kg	-	いもち 紋枯 カメムシ 病類	出穂14~10日前に3~4kg/10aを散布する。
	スミチオン乳剤	500ml	-	イネアオムシ (フタオビコヤガ)	葉先がカスリ状になった被害初期に2,000倍液を120ℓ/10a散布する。
	トレボン乳剤 トレボンEW		-	ウンカ類 カメムシ類 (ニカメイチュウ) (イネアオムシ)	1,000倍液を120ℓ/10a散布する。 イナゴ類の適用あり。
	スミチオン粉剤3DL	3kg	-	ウンカ類 カメムシ類 (ツマグロヨコバイ)	10a当り3~4kg散布する。
	トレボン粉剤DL		-	10a当り3~4kg散布する。 イナゴ類の適用あり。	
	スタークル豆つぶ	250g	-	省力化剤	水深を3~5cm程度に保ち出穂期を目安に処理する。
キラップ粒剤	3kg	-	-	出穂期~出穂10日前を目安に10a当り3kgを散布する。	

水稲除草剤

○成長したホタルイの残草にはバサグラン液剤をご使用ください。

(粒剤では、効果が劣る場合があります。)

○バサグランは好天が続く日の前に散布するとより効果的です。

時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象雑草	使用方法、使用量
7月 上旬	バサグラン粒剤 バサグラン液剤	3kg 500ml	-	ミズガヤツリ ホタルイ ウリカ ヘラオモダ クログワイ 広葉雑草	前日落水して散布し、散布後3~4日間は入水しない。 バサグラン粒剤 3~4kg/10a バサグラン液剤は500~700mlを水70~100ℓ/10aに溶かし散布する。 高温時はバサグラン液剤で葉先に薬害が出やすいので注意する。
	トドメMF乳剤	200ml	-	ノビエ(7葉期未満)	100ℓ/10aの水に200mlの薬液を溶かして散布する。濡れ性を高めた製剤処方のため、展着剤が不要。
	トドメMF1キロ粒剤	1kg	-	ノビエ(5葉期未満)	2週間程度ヒエの発生を抑制する効果もある。
	クリンチャーEW	100ml	-	ノビエ(6.0葉期未満)	茎葉処理剤なので、浅水にし、散布する。100ml/10aの薬量を100ℓ/10aの水量に希釈する。
	クリンチャー1キロ粒剤	1kg	-	ノビエ(4.0葉期未満)	1kg/10aノビエ4葉期まで 1.5kg/10aノビエ5葉期まで
	ヒエクリーン豆つぶ	250g	-	ノビエ(4.0葉期未満)	250g/10a省力処理剤ノビエ4葉期7月5日頃までを目処に使用する。
	クリンチャーバスメ液剤	500ml	-	ノビエ(5.0葉期未満)	100ℓ/10aの水に1,000mlの薬液を溶かし散布する。落水して散布し、散布後3~4日間は入水しない。
	トドメバスメ液剤	500ml	-	ノビエ(5.0葉期未満)	100ℓ/10aの水に100mlの薬液を溶かし散布する。落水して散布し、散布後2~3日間は入水しない。
	ワイドアタックSC	100ml	-	トドメバスメMFのみ 6葉期未満 水田一年生雑草 マツバイ、ホタルイ ウリカワ、ミズガヤツリ ヘラオモダカ	100ℓ/10aの水に500mlの薬液を溶かして散布する。湛水落水どちらでも散布可。
	アレイルSC	500ml	-	-	砂壌土の水田では使用しない。 ごく浅水で止め水をしてから散布し2~3日間は入水しない。その後入水して通常の湛水状態を保つ。 ※ワイドパワー粒剤は「ワイドアタック」と「バサグラン」の混合剤になるので広葉雑草への効果◎
	ワイドパワー粒剤	3kg	-	-	砂壌土の水田では使用しない。 ごく浅水で止め水をしてから散布し2~3日間は入水しない。その後入水して通常の湛水状態を保つ。 ※ワイドパワー粒剤は「ワイドアタック」と「バサグラン」の混合剤になるので広葉雑草への効果◎
	ヒエクリーンバサグラン粒剤	3kg	-	-	砂壌土の水田では使用しない。 ごく浅水で止め水をしてから散布し2~3日間は入水しない。その後入水して通常の湛水状態を保つ。 ※ワイドパワー粒剤は「ワイドアタック」と「バサグラン」の混合剤になるので広葉雑草への効果◎

- ・本資料は防除の一例です。気象条件や作物の生育状況をふまえ、県関係機関にご相談のうえ、現場に沿った適正な防除指導をお願いいたします。
- ・農薬は登録内容が変更になる場合がございます。使用前に再度登録内容をご確認のうえ、ご使用いただきますようお願いいたします。



もっと近くに。

全農山形県本部 生産資材部

023-687-8700

023-634-8182

農薬はJAマークの製品を！

先入れ先出しの励行を！

7月の農薬

No. 4 - 2

令和4年7月1日

園地の生育状況に合わせた適期防除をお願いします。

りんご

○黒星病の発生が見られるところでは防除間隔を10日間以上あけないよう防除を徹底しましょう。
○降雨が続く場合は輪紋病の多発に要注意です。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍量・量 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
7月上旬	サイアノックス水和剤 加用有機殺菌剤 クレフ	500g 1kg	-	シンクイムシ類 ハマキムシ類 (キンモンホソガ) (ギンモンハモグリガ)	1,000倍 100g	700ℓ 700g	有機殺菌剤の項参照下さい。
				斑黒点 黒点 すす すす	落葉 星斑 点斑	病病病病病病	
※有機殺菌剤	オキシラン水和剤	500g 1kg 1.67kg	-	黒すす すす 点斑	600倍 167g	700ℓ 1,167g	有機銅キャブタン剤
	オキシンドー水和剤80	500g	-	斑黒点 すす すす	1,200倍 83g	700ℓ 583g	有機銅剤
(注)・この時期キンモンホソガの発生が多い場合は有機リン剤に代えてノーモルト乳剤4,000倍または、モスピラン顆粒水溶剤2,000倍を加用する。(ボルドー液との混用可) 蚤毒注意。 ・農薬の混用については、混用事例参照すること。							
7月中旬	有機殺菌剤			斑黒点 黒点 すす すす			※有機殺菌剤の項参照ください
	バリアード顆粒水和剤	250g	○		2,000倍 50g	700ℓ 350g	いずれかを散布。 ボルドー液とは混用・接近散布はしない。
	スタークル顆粒水溶剤	250g	-	シンクイムシ類 (モモンホソガ) (カメムシ)	2,000倍 50g	700ℓ 350g	
7月下旬	サムコルフロアブル10	200ml	-		5,000倍 20ml	700ℓ 140ml	いずれか
	エクシレルSE	200ml	-		5,000倍 20ml	700ℓ 140ml	
	加用有機殺菌剤	500g	-	斑黒点 黒点 すす すす			※有機殺菌剤の項参照下さい。 尚、輪紋病の多い園ではオキシラン又は有機銅剤を使用する。
	ナリアWDG	250g	-	斑黒点 黒点 すす すす	2,000倍 50g	700ℓ 350g	いずれか
	マイトコーネフロアブル	500ml	-		1,000倍 100ml	700ℓ 700ml	いずれか
コロマイト水和剤	500g	-	ハダニ類	2,000倍 50g	700ℓ 350g		

おうとう

○ハダニの発生が多くなる前に、早めに防除しましょう。
○収穫後の散布は収穫終了次第早急に実施しましょう。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍量・量 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
7月上旬	アーデントフロアブル	250ml	-	ショウジョウバエ類	2,000倍 50ml	450ℓ 225ml	単用で散布する。
7月中旬(収穫直後)	オキシラン水和剤	500g	-	せん孔病	600倍 167ml	700ℓ 1,167ml	混ダニ可剤と いずれか
	トレノックスフロアブル	1L	-	褐色せん孔病	500倍 200ml	700ℓ 1,400ml	単用散布
	マイトコーネフロアブル	500ml	-	ハダニ類	1,000倍 100ml	700ℓ 700ml	
7月下旬	ICボルドー66D	5kg	-	せん孔病	40倍 2.5kg	700ℓ 17.5kg	

西洋なし

○輪紋病、胴枯病の重点防除時期なので、降雨前後の防除指導をお願いします。
○胴枯病の見られる園地では、小黒点病斑の削り取りと塗布剤処理を行ってください。
○7月下旬以降、ハダニの発生が見られたら、コロマイト水和剤を単剤で散布してください。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍量・量 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
7月上旬	オキシラン水和剤	500g 1.67kg	-		600倍 167g	450ℓ 750g	いずれか クレフノン加用 混用散布
	オキシンドー水和剤80	500g	-	輪紋病	1,200倍 83g	450ℓ 375g	
7月中旬	サイアノックス水和剤	500g	-	シンクイムシ類 ハマキムシ類	1,000倍 100g	450ℓ 450g	いずれか
	パレード15フロアブル	250ml	-	輪紋病	2,000倍 50ml	450ℓ 225ml	
	モスピラン顆粒水溶剤	250g	○	アブラムシ類 ハマキムシ類	2,000倍 50g	450ℓ 225g	
7月下旬	スタークル顆粒水溶剤	250g	-	シンクイムシ類 (カメムシ)	2,000倍 50g	450ℓ 225g	いずれか
	マイトコーネフロアブル	500ml	-	ハダニ類	1,000倍 100ml	400ℓ 400ml	
7月下旬	コロマイト水和剤	500g	-		2,000倍 50g	400ℓ 200g	いずれか
	有機殺菌剤			輪紋病			
7月下旬	エクシレルSE	200ml 500ml	-	ハマキムシ類 シメボク	5,000倍 20ml	450ℓ 90ml	

ぶどう

収穫期近くになったら果実の汚染、果粉溶脱に注意して防除してください。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍量・量 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
7月上旬	オンリーワンフロアブル	250ml	-	晩(さべ)腐病 腐びと斑病	2,000倍 50ml	250ℓ 125ml	いずれか べと病の多発する園では7月上旬・下旬散布(クレフノン加用)
	コサイド3000	500g	-		2,000倍 50g	250ℓ 125g	
	クレフノン	10kg 12kg	-		100倍 1kg	250ℓ 2.5kg	
7月中旬	ストロビードライフフロアブル	250g 500g	-	べと腐病 と腐斑	2,000倍 50g	250ℓ 125g	発生が多い場合単用散布する。
	コロマイト水和剤	100g 500g	-	ハダニ類	2,000倍 50g	250ℓ 125g	
7月下旬	ストロビードライフフロアブル	250g 500g	-	褐斑病・べと病 晩腐病・(さび病)	2,000倍 50g	250ℓ 125g	発生が多い場合単用散布する。
	ダントツ水溶剤	250g	-	アザミウマ類 フタテンヒメヨコバイ	2,000倍 50g	250ℓ 125g	
	パレード15フロアブル	250ml	-	褐斑病 とびか	2,000倍 50ml	250ℓ 125ml	
7月下旬	コロマイト水和剤	100g 500g	-	ハダニ類	2,000倍 50g	250ℓ 125g	袋かけ直後いずれかを散布
	アーデントフロアブル	250ml	-	アザミウマ類	2,000倍 50ml	250ℓ 250ml	
	ランマンフロアブル	100ml 500ml	-		2,000倍 50ml	250ℓ 125ml	
7月下旬	ライメイフロアブル	100ml 500ml	-	べと病	4,000倍 25ml	250ml 63ml	袋かけ直後いずれかを散布
	ICボルドー48Q	5kg	-		50倍 2kg	250ℓ 5kg	

※ストロビードライフフロアブルは単用散布する。

もも

○乾燥した日が続いているので、ハダニ類や害虫の発生に留意してください。
○高温多湿が続いたら灰星病の防除を実施してください。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍量・量 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考	
7月上旬	ダイアジノン水和剤34	500g	○	シンクイムシ類 アブラムシ類 (モモハモグリガ) (カイガラムシ類)	1,000倍 100g	400ℓ 400g	加用散布	
	トレノックスFL	1L 2L	-	黒灰星病	500倍 200ml	400ℓ 800ml		
	展着剤		-					
7月中旬	展着剤		-				加用散布	
	ベルコートフロアブル	500g	-	灰星病 モブシス腐敗	1,000倍 100g	400ℓ 400g		
	オンリーワンフロアブル	250ml	-		2,000倍 50ml	400ℓ 200ml		
7月下旬	エクシレルSE	200ml 500ml	-	シンクイムシ類 モモハモグリガ	5,000倍 20ml	400ℓ 80ml	加用散布	
	※※殺ダニ剤加用			ハダニ類				殺ダニの項参照。
	スカウトフロアブル	500ml	○	モモハモグリガ シンクイムシ類 (カメムシ)	2,000倍 50ml	400ℓ 200ml		
7月下旬	パレード15フロアブル	250ml	-	黒灰星病	2,000倍 50ml	400ℓ 200ml		
※※7月のもも殺ダニ剤 詳細は果樹殺ダニ剤適用表参照。								
薬剤名	薬剤名	規格	譲渡書	リシタゴニ ハダニ	ナハダニ			
	コロマイト乳剤	500ml	-	◎	◎	1,000倍 100ml	700ℓ 700ml	
	マイトコーネフロアブル	500ml	-	○~△	◎	1,000倍 100ml	700ℓ 700ml	

かき

7月中のボルドー液の散布は黄変落葉を助長するので、樹勢の弱い園地や曇雨天の続く場合は使用しない。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍量・量 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
7月中旬	ベルコート水和剤	500g	-	落葉 炭すす (すす)	1,000倍 100g	500ℓ 500g	いずれか
	オキシンドー水和剤80	500g	-				
7月下旬	ダントツ水溶剤	125g 250g	-	アザミウマ類 (コナカイガラムシ) (カメムシ)	4,000倍 25g	500ℓ 125g	いずれか
	展着剤		-				